

年頭ご挨拶

明けましておめでとうございます

皆様のご健康とご多幸・さらなる発展を、心よりお慶び申し上げます。

昨年末に実施した合唱コンクールでは、季節性インフルエンザの感染拡大で間近まで学級・学年閉鎖となり、多くの皆様にご心配・ご苦労をお掛けしました。皆様のご理解とご協力のお陰で何とか乗り切ることができました。ただ、残念ながら出場できなかったクラスには、別の機会に成果発表の場を設けたいと思います。

また、高校3年生となる36期生は、大学・上級学校受験の真っ只中にあります。が、変わりゆく入試選抜制度で、早くも4割の生徒が合格を得ています。来週末も17・18日に実施される大学入試共通テストについては、高校での学習成果判定として全員で受験し、6割以上の生徒がここから始まる一般選抜試験に挑みます。全員の第一志望校合格を在校生・全教職員ともに応援しています。「努力は裏切ることはありません。」試験終了の合図がある最後の1秒まで全力を尽くしてください。

さらには、2月1日から始まる本校の中學・高校入学試験を受験される皆さんも、これまでの学習成果が十二分に發揮できるよう努力を重ねてください。応援しています。いずれにしても、体力と健康が第一です。規則正しい生活と十分な睡眠、栄養バランスのとれた食事に心掛けましょう。皆さんの後ろには、ご家族や先生方多くの数え切れない応援団がついています。

ところで、世界に目を向けると、各地での紛争や戦争などの危機が続いている、また地球環境の変化についても、身近なところから考え同時に長期的視点を持って対応する必要に迫られています。これらの世界的な情勢を考える上で、共通して言えることは他者への配慮の不足が挙げられます。それを支えるのが、「思いやり」の精神であり、基礎的な知識に基づく客観的な事実を見抜く視点と幅広い視野の育成の育成です。中学・高校生として、今できることは何か、背伸びし過ぎることなく、地に足を付けてじっくりと学ぶことです。

そのためには、丁寧な「敬愛奉仕」の精神に基づき、地道に手間暇かけて「自主研鑽」に励むことが第一です。それを支えるのが「健康明朗」な心身と言えるでしょう。皆さん一人ひとりが、新年に立てた目標を実行しつつ、理想の実現に向け工夫を重ねて、大いに努力されることを願って止みません。「飛躍の年」と言われる2026年丙午、さらなる挑戦となりますよう祈念しています。

世界の人々の平和と安寧、健やかな生活となりますよう、変わらぬご理解と温かなご支援をお願いいたします。

2026年1月

校長 石飛 一吉



2026年元旦の初日の出
(江ノ島東浜にて)



2025年大晦日の夕陽
(江ノ島東浜にて)